

## 「じゃがいものうち」通信 NO.63 2009.12.21

～障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.n e.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga> 代表 松田 正



じゃがいもの植え付けを終えて（安房小との福祉交流会）

## 阿頼耶識（あらいやしき）

最近ひょんなことから、阿頼耶識に関心を持ちました。言葉は聞き慣れませんが、内容を見れば誰にでも思い当たることだと思います。

人間誰しも心の奥底に、今までの言動や思考・意志の総てが記録されているというのです。語源はサンスクリット語の『アーラヤ』（蔵の意）でヒマラヤ（ヒマは同じく雪の意味で雪の蔵）の『アーラヤ』と同じだそうです。

『三つ子の魂百まで。』と言うのも、経験則からの教訓で同じことを言っているのだと思います。理工系の私には素直にすぐには信じがたいことですが、忘れ物をした人が催眠術をかけられて自分の行動をどんだんさかのぼり、忘れた現場のことを思い出すことがあるのを聞いたことがあります、これなんかもまさに阿頼耶識のあることを示しているように思います。

普段は意識していなくても、心の奥底にみんなそれぞれため込んでいて、それが人格を形成するというのです。そして日常のいろいろな場面で遭遇する物事に対する感じ方、見え方、聞こえ方などは、その阿頼耶識から支配されていると言うのです。だから同じ物を見たり、同じ事を体験しても、人それぞれに受け止め方が違うと言うことです。と言うことは、良いことをどんだんやって良いものため込んでいけば、良い人になれるってことです。よく耳にする『徳を積む』というのはそんなことを言っているみたいです。お坊さんなんかの修行も阿頼耶識の中を綺麗にするためのものと言うことです。

認知症というのも、阿頼耶識にため込まれたものから出発して、意識・感覚が現在までたどり着けずに、その途中、現在から言うで一時的に何年か前の時代を生きることのようにです。

もうすぐ2009年も終わりです。年を重ねたせいか随分と日の経つのが早くなりました。私自身は反省することしきりですが、皆さんはいかがでしたか、阿頼耶識に良いこと貯められましたか？自分を変えたいと思っている人、阿頼耶識のこと見直してみませんか。

（松田正）

# 福祉って何？

## あらためて、“福祉”ってなに？

以前、読んだ本の中。

約 20 万年前から 3 万年前にヨーロッパから中東で生きていた古代型人類、ネアンデルタール人の化石が、1950 年代に北イラクのシャニダールで発掘された。見つかった大人の化石は、生まれつき右腕が萎縮する病気にかかっていたが、右腕が不自由なまま比較的高齢（35？ 40 歳）まで生きていたことがわかった。仲間達が食べ物を運んだりして面倒をみていたと考えられている。そこには助け合い、介護のはじまりが見て取れる。

徳洲会の理事長、徳田虎雄は、「福祉の原点は医療である。そして、医療の原点は救急である」として、年中無休、24 時間の救急医療を行っている。

宮沢賢治の「雨ニモ負ケズ..」の中に「アラユコトニ、自分ヲカンジョウニイレズ..」という一がある。自分の事を考えないと言うことは私の究極の理想である。なぜなら、私は「私の強い」人間だから。

漠然と、「福祉とは？」と考えた時に思い浮かんだ事である。（屋久島徳洲会病院院長 山本晃司）

## 福祉って何？

相手の立ち場になって考え、行動し、社会を育むことでしょうか？

今年も様々なボランティア活動をしてきました。今朝も通学困難（病気の為）な高校生を一時間で送って帰って来たところです。

身体障害者協会に加入して、旅行や行事のサポートをしたり、視力障害者のガイドをしたり、子育てママのサポートをしたり、やりたかったボランティア人生を送っています。

人は皆同じ価値（生命の重さ）があると信じている私には、脊髄カリエスの友人に伝えたい事があります。ある時ふとした事で「あなたに言っても分らないから。」と言われた時、分かり合い、理解し合い、歩み寄り合ってこそその福祉社会でしょう。「分らないから。」で差別しないで。その心の壁が障害なんだよ、って。その友人とも絵画クラブで仲く楽しんでます。人生総て、人の為なんて、いいですね。

今年も、自治会長もやってる若松っちゃんでした。（東京都 元神山小教諭 若松京子）

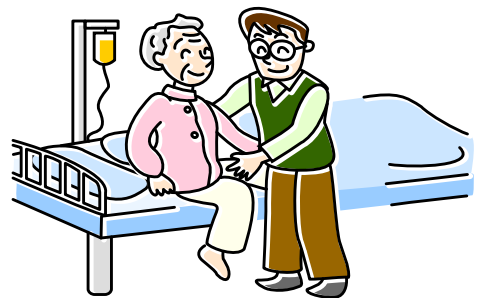
## 福祉とは？

「福祉という言葉は入り口に過ぎず、そこからもっともっと奥深い世界があると思います。たとえば 1 個のサイコロにそれぞれ違う 6 つの面があるように、福祉という世界にもたくさんの側面（見え方、捉え方）があると思います。

その一つの側面に、『人と人との横の繋がり』があると思っています。

それは、決して「誰か（弱者）の為に何か（手助け）をする」というモノではなく、今そばにいる人にとって喜ばしい事があったなら、私も一緒に「ああでもない。こうでもない。」と苦悩し合うといったような、横のつながり。

私のこれまでの人生を振り返って見ましても、その時その時に、共に笑い、共に悩んでくれた友人や家族がいてくれました。私達が人生で味わって行かなければならない問題は、得てして答えがすぐに見つからないことの方が多いです。その時、共に葛藤し、共に悩んでくれる人との繋がりがあれば、どんなに心強く生きて生きて行けることでしょうか。『福祉』にもたくさんの側面があるかと思いますが、私は日常の生活の中にある、人と人との繋がりを大切にしていくこと、それを実感出来る様にしていくことも福祉の役割ではないかと思っています。（栗生大照寺・永田普光寺僧侶 田嶋弘典）



前号より 2 回にわたり、「福祉」というテーマで、寄稿して頂きました。ご多忙にもかかわらず原稿依頼を気持ちよく受けて頂き、心より感謝致します。

皆さんの原稿を読んで見て、「じゃがいものおうち」の理念の中にある「どんな障害があっても悩みを話し合い、助け合って生きてゆきます」という一文をあらためて思い起こしました。

また、あたりまえの事ですが、人は、一人では生きてゆけません。多くの人とともに暮らすには、互いに助け合いの心が必要です。その思いやりの心や優しさが「福祉」に通じると思いました。（楯篤雄）

# みんなのおうちコーナー

## 利用者さんの声

長谷部さんがスタッフとして入って、早くも3ヶ月経ちます。  
やっと最近、中古のパソコンを買い、長谷部さんに手伝ってもらい、使っています。  
パソコンは前から使いたかったのですが、使えるようになってうれしいです。  
いままではMacだから使いにくく、今まで何回もあきらめてきました。  
だから、すごくうれしいです。これからは、ネットとかが出来たらいいなと思っています。  
長谷部さんも結構みんなのおうちに慣れてきた様子。  
いろいろあったけど、これで2009年が終わります。



( 榎水生輪 )

## スタッフからの声

10月から「みんなのおうち」で働かせていただいています長谷部なほ子です。屋久島大好きな私は、7年前から計20回ほど遊びに訪れ、この4月に埼玉から移り住み、自然に囲まれた生活を楽しんでいます。  
今まで精神障害者福祉の職場で働いており、高齢者福祉の分野は初めてなので、日々戸惑うことばかり。  
みなさんに助けをいただきながら、なんとか3ヶ月が過ぎようとしています。  
好きなことは、森の中でぼーっとすることと、パンやお菓子を作ること。  
のんびり屋の私ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

( 長谷部なほ子 )

## 小遠足

11月4日(土)、その日の利用者さんと麦生のコスモス畑に行ってきました。途中星野さんを見かけたので、お誘いして一緒にいざ出発。あいにくの曇り空ながら昨年より面積も増え、きれいなコスモスに囲まれながらのティータイム。楽しいおしゃべりの後、咲き誇るコスモスに負けじと、はいチーズ!



無我夢中で走ってきたこの一年。利用者さんやボランティアさんに助けられながら、ここまでやってこられました。ありがとうございました。来年もまたよろしくお願ひいたします。(スタッフ一同)

## ☆おおほらかい

9月15日(火)茶話会 (14名参加) いつも話題となるのは健康問題についてです。今回は「生活習慣病について」皆さんと話し合いをしました。お互い食生活などに気をつけたいですね。とても参考になりました。

10月27日(火)茶話会 (13名参加) 今回は小笠原さん&星野さんそれぞれの健康法(深部筋を鍛える岡田式静座法など)を実演していただきました。話題が健康問題になると俄然盛り上がる「おおほらかい」です。大変楽しく参考になりました。

11月24日(火)就労支援施設「屋久の郷」見学&お買物ツアー(13名参加) あいにくの雨の中、施設利用者の頑張っている姿に感激、またお昼のランチが美味しかったこと。日頃なかなか行けない買い物も無事に済ませて皆さんの満足気な様子が伝わって来ました。どしゃぶりの雨となりましたが、大変楽しく有意義な一日でした。

12月15日(火)忘年会 (18名参加) 一芸披露に向け連日特訓された方もおられ、お弁当を食べながら、本格的な踊りと三味線、歌などを交えた楽しい会となりました。



「屋久の郷で施設長の説明を熱心に聞く」

## ☆じゃがいもの植え付け

(11月4日(水) 9:00~12:00)



天候の都合で延びていたじゃがいもの植え付け、晴れの日が続いてようやく行う事が出来ました。

屋久島町のマイクロバス2台で、今年も安房小6年生がやって来ました。今年は2クラス、先生も含めて総勢49名もの頼もしい助っ人達。広々とした尾之間の農道を皆が歩いてくる姿は壮観でした。種芋切りや植え付け作業があれよあれよと言う間に進み、予定より早く、終了いたしました。お楽しみの休憩時間には、恒例の「じゃがいものうち」専属のエンターテイナー達による一芸披露もあり、楽しく盛り上がりしました。

皆様の心のこもった植え付け作業のおかげで、あの「じゃがいも」は現在もスクスクと育っていますよ、収穫が楽しみです。

(楯篤雄)

# ☆安房小との交流会

11月26日(木)の午前中、安房小学校において、視覚障害者と6年生47名との交流会がもたれ、じゃがいものうちから2名が参加しました。

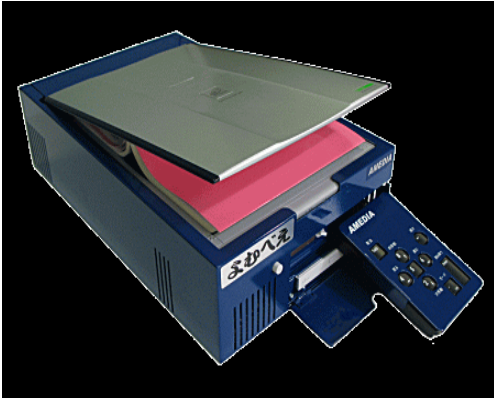
初めに中井さんが、持参したいろいろな“視覚障害者のための生活グッズ”(音声の電磁調理器、時計、携帯電話や針通し、醤油さし等)の説明をし、白杖の使用によりバスの乗り降りをするようになった事も含め、いろいろなグッズのおかげで家事や農業の手伝い等、日常生活で出来る事が増えた事を話すと、生徒さんの中から「目の見えない人は何も出来ないんだと思っていた」との感想がもれました。



次に目の病気、視力視野、盲導犬、点字等、大まかな視覚障害者の概要を説明しました。

その後、2人一組(一人はアイマスクを付けて全盲の人、もう一人は誘導する人)になって校舎を一周するという疑似体験を終えると異口同音に「こわかった」という声が……。

交流会を行うに当たって、先生方が生徒さんの質問をまとめるなど、福祉に対する関心を高めて下さった事が、生徒さんからの積極的な質問や、大勢が集まってグッズを試したりという事に表われ、楽しい会になりました。(四宮英代)



読み上げ機

12月9日(水)10:45~11:30

(聴覚障害者の遊佐良樹さんと手話通訳者の日高冬子さんが今年も安房小学校6年生の教室に行き、交流学习を致しました。)

みなさん、いつもお疲れ様です。12月9日、安房小学校との交流会に行ってきました。僕は緊張しましたが発表する時、落ち着いて話ができ本当にほっとしました。

ゲームをしている時、子どもたちは自分の手話を作ってくれました。すごく楽しかったし、おもしろかった。また来年も楽しくやりたいので、頑張ります。安房小学校の皆様、心からありがとうございました。(遊佐良樹)

## 行事予定

### 餅つき会

〈振る舞い餅のみで、個人の餅はつきません。〉

日時 12月26日(土) 9時集合

場所 「みんなのおうち」

持ち物 エプロン、三角巾又はスカーフ、食器  
(箸、茶碗、コップ)

昼食はつきたての餅、ごった煮汁  
(中身、具の寄付大歓迎)

### 新春茶話会

日時 1月4日(月) 12時~15時

場所 「じゃがいものおうち」

持ち物 一品持ち寄り、箸、食器、飲み物

### タンカンジュース作り、じゃがいも掘り

日時 2月下旬~3月中旬

### しゃくなげ未来館との交流会

日時 1月13日(水)

場所 「しゃくなげ未来館(安房)」

### おおぼらかい

日時 1月26日(火)

日時 2月23日(火)

日時 3月23日(火)

(午後1時30分~ みんなのおうち)

## お便り紹介

### 「じゃがいものうち」で学ぶ

「じゃがいものうち」会員4名の方と小麦の選別作業をした。

まずは、一人ずつ自己紹介。(実は2年前も会っていたのだが・・・。久しぶりなのでいいか・・・) 役割分担をして早速作業開始! 作業は唐箕(とうみ)といって主に稲作でつかわれた選別用具で行った。選別作業前のものは、ゴミ、実の入っていない空籾や籾殻などが混じっている。唐箕は箕の機能を能率よく機械化、大型化したもので、風の力を利用して穀物を選別する。作業はだいたい二人で行うが、今回は6人!(私とお手伝いのYさんを含む)で行った。役割は、小麦を入れる係、穀物を落とす係、送風機を回す係、選別された小麦を袋に入れる係を交代で行った。風をあまり強くすると良い実まで飛ばしてしまい、逆にあまり弱いと選別の状態が悪くなるので、いつも下の口を見ながら風力を調節して回転させなければならない。

毎週水曜日、作業の面倒をみておられる楯さん曰く、「機械だとみんな失業しちゃうんだけど、これ(とう)でやれば一人一役でみんな働ける。いい道具だ。」(私)「なるほど!」他の用事で出かけないといけない楯さんから「送風機を回すとき一人一人速さが違うから、そこをアドバイスして」とのこと・・・。なるほど、Aさんは何事にも一生懸命のタイプで速い速い! Bさんはゆっくりマイペース。(時々休憩・・・)

楽しく会話をしながら全員一生懸命に作業を行った。私は帰りのフェリー時間ぎりぎりまでいっしょに作業させていただいた。最後に、写真を2枚撮影し、港へ向かった。

これは、2007年8月。屋久島への旅5日間の最終日のこと。屋久島の中学校に勤務したおかげで、豊かな自然だけでなく、「じゃがいものうち」の方々と出会い、家族で今も交流させていただいている。

“福祉”について考えることのなかった自分たちに、そのきっかけをくださった「じゃがいものうち」の方々に感謝! 鹿児島市へ転勤になり早10年。なかなか屋久島での活動に参加できませんが、また、屋久島に行ったときには、たくさんの方と“福祉”について語れればと思います。(鹿児島市中学校教諭 脇田武志)



## 街かど情報コーナー 【地域の話】

### 障害者福祉の勉強会のお知らせ☆

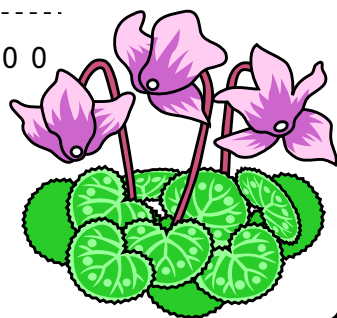
屋久島でも障害者の高齢化が進んでいます。それに伴い、親も高齢化しています。親亡き後、障害者が安心して生活してゆける場を作ることは、障害者自身にとっても、親にとっても切実な願いです。

私達は夜間の生活の場を、また、より重度の方の日中活動の場を提供してゆくための活動を始めました。この活動を続けるなかで、多くの方々に、障害者と障害者福祉について理解していただくことの大切さを強く感じました。

そこでこの度、「屋久島町」及び「NPO法人じゃがいものうち」の協力を得て、下記の要領で「勉強会」を開催することになりました。

お忙しい中とは存じますが、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時	平成22年 1月12日(火) 14:00~16:00
場所	屋久島町福祉事務所(安房・旧合庁内)大会議室
共催	精神障害者家族会 会長 原田 廣 身体障害者福祉協会 会長 梅本 龍治 手をつなぐ育成会 会長 楯 篤雄
お問い合わせ	090-4775-9239(大山正典)まで



## 手をつなぐ育成会便り

我々のように家族に障害者がいますと「屋久島で安心して暮らす」ことが、高い高い山の頂を見るようで重たくのしかかってきます。登山を楽しみにされている人に聞けば、つらい登り道も頂上に着いたとき登り切った者でしか体験出来ない素晴らしい眺望と達成感があり、それを思えば一步一步の登り道も楽しく思えるそうです。

我々もそのように一步一步進んでゆけば必ず目的とする頂きを手にすることが出来ると思います。

育成会の切実な思いである、働く場（日中活動）とグループホーム（住む家）の設立に向けいよいよ踏み出す事となりました。

10月に種子島にあるNPO法人「コスモ」を、会員17名で見学してきました。「コスモ」では、もう既に就労支援やグループホーム、児童デイサービス、移送サービス、また高齢者のデイサービスやグループホーム等々と高齢者であれ障害者であれ必要な福祉サービスが次々と展開されていました。福祉の手を必要としている人が一人でもいれば、なんとか受け入れてゆく姿勢が何よりも素晴らしいと思いました。

研修から帰って今、あらためて国の福祉制度を勉強してみようということになりました。自立支援法にそって精神、知的、身体の各障害者団体と役場の方や関係機関の方達と共に、障害者福祉制度の勉強会を計画しました。人口に限りのある島だからみんなでまとまる方が大きな力になると思います。

皆で勉強し、皆で作って行きましょう。

（楯篤雄）

「勉強会」の詳細は6ページの「街角情報コーナー」をご参照下さい。



## 喫茶コーナー

土曜日、喫茶を担当している稲見です。

随分寒くなって来ましたね。12月19日の朝、山が雪で白くなっていました。

喫茶のリサイクル品コーナーも冬物のお洋服を出し始めました。毎週、高見澤信裕君と一緒に「これは暖かそうだ」とか言いながら、コート、ニット、トレーナーなどを選んで追加しています。思わぬところで、掘り出し物に会えるかもしれませんよー(^-^)

（稲見風子）

最近、常連さんをはじめ、いろいろな人達が立ち寄ってくれるようになって来ました。「美味しいコーヒー飲ませて！」と来てくれるお姉様方、「今日は何があるの！ いいものある！」と声をかけてくれるお母様、お父様方、毎度ありがとうございます。じゃがいものおうちの喫茶もようやく地域の人達に気軽に来ていただけるお店になって来たのかなーと思う今日この頃です。これも喫茶を支えてくれているスタッフの日頃の頑張りと多くのお客様のお陰と感謝しております。

これからも地域の人達はもとより、観光客など多くの人たちに愛され、利用される喫茶として頑張っていくますので、よろしく願いいたします。

（じゃがいものおうち事務局）



## 新会員紹介

皆さんよろしく

一般会員 相良知恵（平内）

賛助会員 綱取光次（沖縄県） 古居一男（小島）

## 年末年始のお知らせ

（下記の期間お休みさせていただきます）

喫茶 12月29日（火）～1月4日（月）

みんなのおうち 1月1日（金）～3日（日）



## 感謝録 (9月16日～12月20日 敬称略)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものうち、みんなのうち)

須原光伸 鹿島ミチ子 遊佐さえ子 中田留美子 稲場輝雄 川崎君子 稲見風子 山田悠介 有馬文代  
山田由紀子 笹川芳子 松本三枝子 吉田照子 萱嶋好子 日高ヨリ 相良知恵 有川洋子 日高典子  
鈴木葉子 伊藤美樹 安藤多鶴子 笹川昭子 戸床マサ子 古居智子 日高ふみ子 日高ユキ子  
石原幸江 星野京 後藤田由利美 岩川臣雄 日高チズ 川上千景 岩川ミヤ 塚田哲夫 川上雄治  
古居一男 井上紀代子 松本活栄 岩川トク 飯田かおる 大門聖子 太田美代子 谷本正和

### 会費納入のお願い

21年度分会費を未だ納められていない方、ご入金の際よろしくお願ひいたします。

美味しさバツグン！黒豚タップリ！

**黒豚味噌 1瓶 (150g) 500円**

第一弾！製造・販売の豚味噌は好評完売！  
年内に第二弾の製造・販売を予定しています。



好評！濃厚な果汁がたっぷり！

**タンカンジュース 1本 850円**  
(会員価格600円)

※お好みに応じ、倍以上に  
薄めてお飲みください。



売れてます！

**春ウコン・秋ウコン・ガジュツ**  
**1パック (100g) 600円**



※地方発送致します。(送料、振り込み手数料別)

この商品の売上は、障害者福祉の充実を目指す「じゃがいものうち」の運営資金となります。

### 編集後記

またまた今年もあとわずかになりました。いろんな事がありましたね。政権交代が一番大きな事だったように思います。政治の大改革が今行われようとしています、良くなる期待と、大丈夫だろうかという不安が入り交じっていますが、「じゃが通信」は世の中がどのように変化しようとも障害を持つ人達にとって役立つ情報に心掛けて行こうと思います。それでは皆様、良い年をお迎え下さい。(楯篤雄)